



新型コロナウイルス感染症に関する 疑問にお答えします

2020/11/07時点 与論町教育委員会事務局

Q 1 11月に入り、新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業が行われましたが、どのような判断に基づいているのですか。【更新】

A 1 与論町新型コロナウイルス感染症対策本部の危機管理マニュアル、及び、徳之島保健所等の指導に基づき、臨時休業の判断をしています。

また、臨時休業の範囲については、「4つの小・中学校を一斉に臨時休業にする」という判断のほかにも、「ある学校のみ休業」や「ある学年・学級のみ閉鎖」という判断や、限られた時間や曜日に登校する「分散登校」を実施するという判断も考えられます。このことについても、徳之島保健所等からの助言を受けながら判断します。

Q 2 臨時休業の期間の目安はどれくらいですか。【更新】

A 2 疫学調査によると、新型コロナウイルスは72時間（3日間）でほぼ死滅するとされています。そのため、ウイルスが死滅するまでの3日間は該当する学校や学年・学級を休みにすることが適当だと考えます。

なお、学校や学級を再開する前には、学校での感染事例であるかどうかに関わらず、校内を念入りに消毒します。その際には、教育委員会事務局からも職員を派遣します。

Q 3 児童生徒や教職員が陽性になった場合、学校名を公表するのですか。

A 3 感染予防のために特に必要でない場合は、誹謗中傷や風評被害等を避けるために学校名の公表を控えています。

Q 4 感染が心配で、子供を学校に行かせることが不安です。学校はどんな対策をとっているのですか。【更新】

A 4 今夏の与論町でのクラスター発生を受けて、教育委員会は学校用の感染症対策の物資を調達しました。また、県内外からもたくさんの支援物資が与論町に届けられました。それらの物資の中から、手指消毒用のアルコール、教室等を消毒するためのエタノール、使い捨てマスクなどを各学校に配付してあります。学校においては、それらの物資も活用しながら、文部科学省による「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」に基づき、感染予防対策を入念に進めていますので、御安心ください。

どうしても不安がある場合は、お気軽に学校に御相談ください。



Q 5 スポーツ少年団や部活動，スポーツクラブの活動はどうなっていますか。また，図書館や砂美地来館，B & G プールなどの社会教育施設は開いていますか。**【更新】**

A 5 スポーツ少年団及び部活動，スポーツクラブについては活動を自粛しているところです。現在の感染状況が落ち着いた後，「指導者が感染症予防についての正しい知識に基づきながら，活動前・活動中・活動後の感染症対策をしっかりと行っていること」を条件に順次活動を再開していきます。

また，現在，図書館，中央公民館，砂美地来館などの社会教育施設はほぼ全てが閉館しています。各施設の運営状況は与論町ホームページに掲載されていますので，御覧ください。

Q 6 感染者や医療従事者に対する差別や誹謗中傷が全国的に問題になっています。親として子供のためにできることは何でしょう。

A 6 新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大に伴い，「病気が不安を呼び，不安が差別を生み，差別が更なる病気の拡散につながる」という負のスパイラルが日本の各地で生じています。

そのような状況下にあっても，今夏，与論町の皆様は，島外に搬送された方々を，「ユカテー 元気ナティ，ムディティウワチャクトウナユイ。ションシ ユカテー マッチュヤビタンドー（良かったね，元気になって帰って来られて。良かったね，待っていましたよ。）」という温かい心でお迎えしようと努めてくださいました。そのおかげで，与論町においては不当な誹謗中傷や差別が大きな問題にならず，その人権意識の高さは県内の新聞で紹介されたほどです。（南日本新聞8月22日朝刊「感染者気遣う心」）

このように，困難な時期にあるからこそ，私たち大人は率先して子供たちに高い人権意識を示したいものです。そのような大人たちに囲まれて生活することで，子供たちも，「差別を憎み，偏見を許さない」「いじめをしない，させない」などの人権感覚を高めていくはずです。



過去のQ&Aや，町内における新型コロナウイルス感染症に関する情報は，与論町ホームページで閲覧できます。御確認ください。



※資料 WHO（世界保健機関）公表 「コロナ禍で親が心がけるべき6か条」

- 1 子供と1対1の時間をつくる
- 2 親が前向きに物事をきちんと伝える
- 3 新しいルーティン（日課）をつくる
- 4 子供が「悪い子」になったら一呼吸置く
- 5 落ち着いて，ストレスと向き合う
- 6 新型コロナウイルス感染症について，正確な情報を話す

- ※家事などをとおした「共同体験」を大切に
- ※お子さんのよい行動をしっかりとほめましょう
- ※新しい日課をお子さんと一緒に考えましょう
- ※深呼吸し，怒鳴るよりも^{どな}も^{さと}論みましょう
- ※親自身が健康であるためにしっかりと休息を
- ※情報の真偽を見極め，「正しく恐れる」